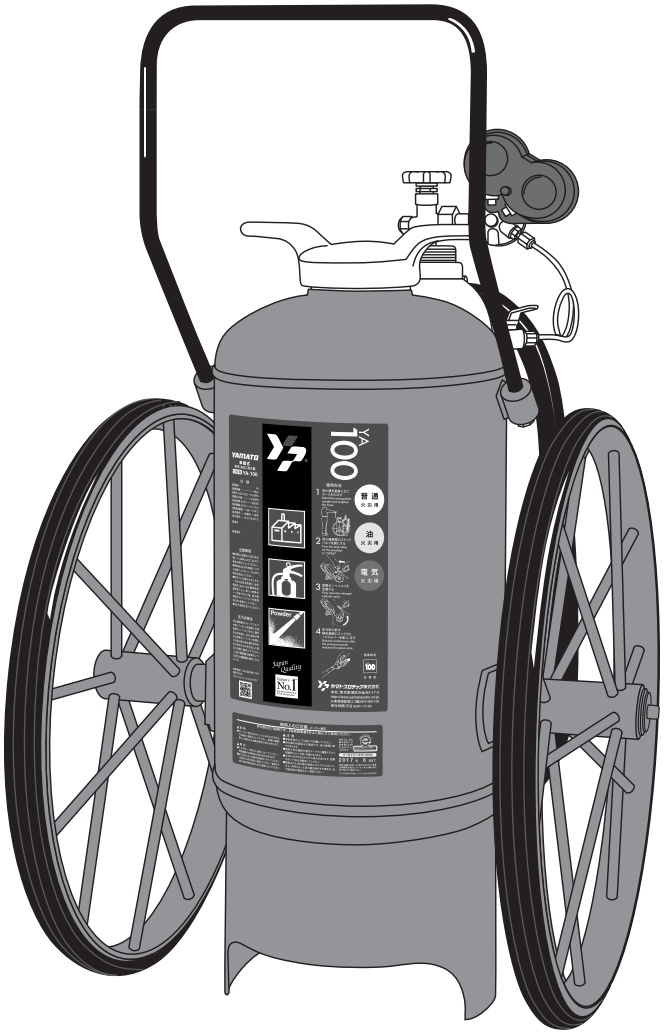
＊説明書は必ず読んでください。
＊いつでも読めるところに保管してください。

大型粉末消火器
取扱説明書

■対象消火器　YA-100



注意!危険防止について。

消火器はすべて国家検定に合格していますが、設置条件の悪いものや年数の古いもの、あるいは、誤った取扱いなどによって事故が発生する場合があります。
この『取扱説明書』の 危険・警告・注意 の事項は必ず守り、身近な防災器具として、いつでも使用できる状態にしておいてください。

ヤマトプロテック株式会社

消火器は圧力容器です。

⚠危　険　死亡または重傷にいたる状況を示す。

サビ・キズ・変形・キャップのゆるみのあるものは、
絶対に使用しないでください。
容器の破裂等により
重大な人身事故発生の恐れがあります。

⚠警　告　死亡または重傷を負う可能性のある状況を示す。

- **人に向かって絶対に放射しないでください。**
  - 呼吸困難や危害発生を招く恐れがあります。
- **法で定められた点検を定期的に行ってください。**
- **製造年から8年の耐用年数の過ぎたものは使用しないでください。**
  - 耐用年数を過ぎた消火器は、事故につながる恐れがあります。

⚠ 注　意

軽傷または中程度の障害、また
物的損害の発生のみが予測される状況を示す。

●設置場所は高温多湿のところは避けてください。

●使用温度範囲内の場所に設置してください。直射日光の当たるところや寒冷すぎるところに設置すると機能を十分に発揮させることができません。また、湿気を避けたり、直射日光を防ぐために消火器格納箱や設置用保護袋をかぶせるようにしてください。

●消火器は初期消火の器具です。
消火範囲に限りがあります。

●火元に近すぎるとヤケドの恐れがあります。

●距離をおいて消火活動をしてください。

●消火器を廃棄する場合は
必ず販売店か製造元にご相談ください。

●圧力容器である消火器を、古くなったからといって勝手に捨てるのは危険です。絶対に捨てないでください。

⚠火の中に投げ込まないでください。

●消火器内の圧力が上昇して消火器が破裂します。

火災の時にすぐ使うために

⚠ 注 意

⚠試し放射はしないでください。

そのまま設置されますと［イザ!］というとき使用できません。

⚠ノズル開閉は常に調べてください。

ノズルの開閉が容易にできるかどうかを常に調べてください。

⚠放射後はすぐ消火薬剤を詰め替えてください。

一度放射されたら、ただちに消火薬剤を詰め替えてください。
＊お求めになった販売店などの専門の業者か、当社営業所に詰め替えを依頼してください。

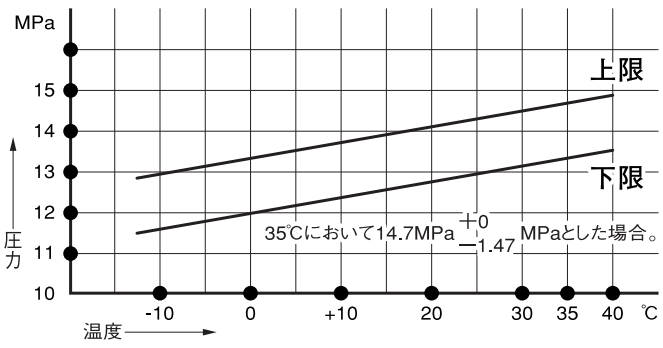
⚠6ヵ月に1回以上の点検をしてください。

使用するときに100%の能力を発揮できるよう、また永く効力を保持させるため、消防法施行規則第31条の6に基づき［6ヵ月に1回以上の点検］を、消防設備士等の資格を有する人に依頼して行ってください。

- ストップバルブが閉じていることを確認した後、ボンベバルブを開き、圧力調整器の圧力計が規定圧力を示すか否かを検査してください。
- 窒素ガスは温度により内圧が変化するため、そのときの温度と圧力の関係を調べる必要があります。＜グラフ＞の下限以下の数値であれば再充てんしてください。
- ボンベ圧力を調べたときには、ボンベバルブを完全に締め切った後、ガス導入管の結合部をゆるめて圧力調整器中に残存するガスを放出し、その後、元の状態に戻してください。
- 本体容器・キャップ等のサビや劣化の点検、また、ホースや車輪も点検し、車輪が回転しにくいときは車軸に注油をして円滑に動くようにしてください。

＊お求めになった販売店などの専門の業者か、当社営業所に点検を依頼してください。

●加圧用N_2容器内圧力と温度の関係グラフ



設置について

イザ!というときすぐに使えるよう、設置場所や条件について十分注意してください。

⚠ 注 意

⚠倒れないように設置してください。

簡単に倒れないように設置してください。

⚠物が落下しない場所に設置してください。

重量物の落下などによる強い衝撃が加わらない場所に設置してください。

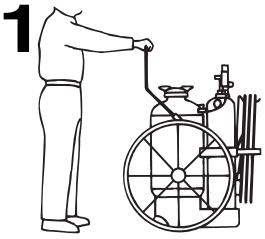
操作方法について

消火器の機能を発揮させるため、間違いのない操作をしてください。

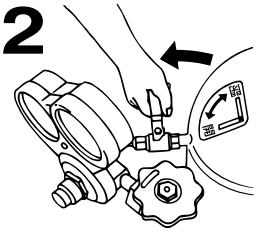
⚠ 注 意

⚠銘板に書いてある使用方法に基づいて操作してください。

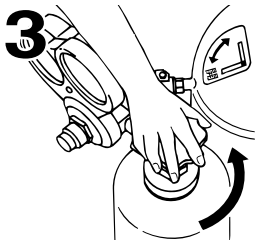
■YA-100



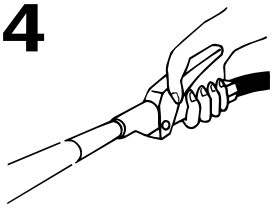
消火器を垂直に
立てホースをのばす



消火器肩部のストップ
バルブを開にする



窒素ボンベバルブを
全開する



圧力計の針が緑色
範囲に入ってからノズル
レバーを強くにぎる

⚠消火器を垂直にして使用してください。

使用時は、必ず消火器を垂直に立てた状態にしてください。

⚠ホースは完全に延長してください。

使用時にホースが完全に延長されていないと、消火薬剤を効果的に放射することができません。また、危害発生することがあります。

消火薬剤について

消火薬剤に毒性はありません。しかし大量に吸い込むと危険な場合がありますので、ご注意ください。

⚠ 注 意

⚠目に入ったときは水で洗ってください。

消火薬剤が目に入ったときは、すみやかに水道水で洗い流してください。なお、充血したり目に痛みを感じたときは、医師の診察を受けてください。

⚠放射後は清掃してください。

飛散した消火薬剤をそのまま放置しておくと、薬剤が湿気を帯びてカビが発生したり、金属類を腐食させることがあります。また、電気器具の絶縁を低下させますので、すみやかに清掃してください。

消火器の手入れについて

⚠ 注 意

⚠使用後は必ず残存ガスを放出してください。

引き手が地面につくまで手前に倒し、ノズルレバーを握って再び開放して消火器内の残存ガスを放射してください。

- 残存ガス放射は同時にホース内の残存消火薬剤を放出して掃除する重要な操作で、これを怠ると正常に働かないことがあります。必ず行ってください。

⚠ぬるま湯か水で汚れをふき取ってください。

消火器を清掃するときは、ぬるま湯か水でしぼった布（ぞうきんなど）で汚れをふき取ってください。水を直接かけて洗うと、すきまなどに水が入りサビや腐食の原因になることがあります。また、有機溶剤（シンナー、ベンジン）や洗剤は使用しないでください。

⚠ネジなどをゆるめないでください。

消火器のキャップなどは、勝手にゆるめたりしないでください。

使用後の再充てんについて

⚠ 注 意

⚠使用後の再充てんは必ず有資格者によって行ってください。

使用後の再充てんは、必ず有資格者（消防設備士）によって次の方法で行ってください。

●ホース（容器側）についている防湿用封板を、新しいものと取り替えてください。

●容器内に残っている消火薬剤を取り出し、新しい消火薬剤を規定量充てんしてください。

組立方法【有資格者用】

YA-100は輸送時の保守のため、窒素ガス容器はボンベキャップを取り付け、圧力調整器・ガス導入管をはずして送付しています。梱包を開けた時には必ず輸送中の損傷がないかどうか（ゲージガラスの割れなど）確かめてから組み立ててください。

1・ボンベキャップをはずす。

＊取り外したボンベキャップは、再充てんに送る際に必要ですから大切に保管してください。

2・圧力調整器の袋ナットにパッキンが入っているのを確認した後、ボンベバルブのネジ部に、モンキーレンチ、スパナ等で強く締め付けます。

3・ガス導入管を、図のようにA端を圧力調整器に、B端を本体容器のストップバルブにネジ込み、スパナで強く締め付けます。

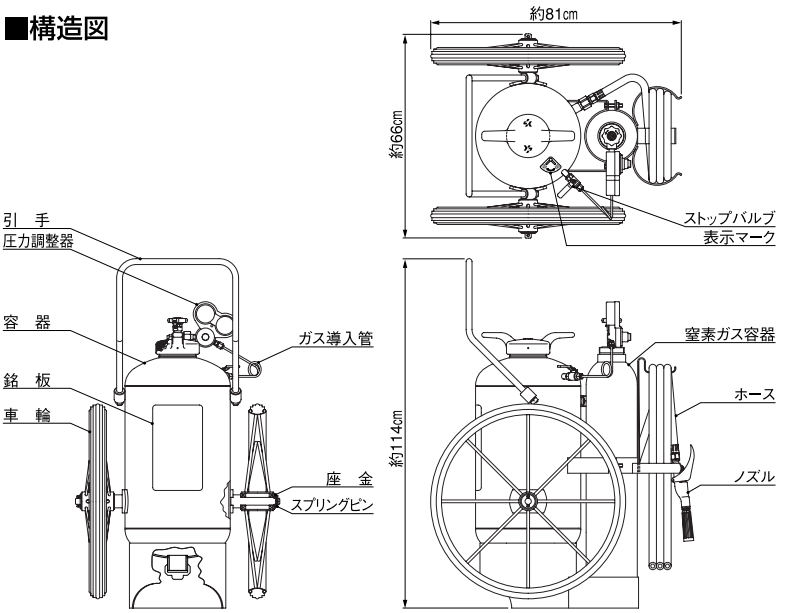
4・組み立てが終わったら圧力調整器の1次側および2次側の圧力を確認してください。

＊1次側＝35℃14.7MPa $^{+0}_{-1.47}$MPa　＊2次側＝緑色範囲1.37MPa～1.66MPa

●圧力調整器

●ガス導入管

■構造図



規格・国検	材質・鉄
総　質　量	約110kg
薬　剤　質　量	40kg
全　高	約114cm
最　大　幅	約66cm
奥　行	約81cm
ホース長さ	5m
放射時間	約65sec（20℃）
放射距離	5～11m（20℃）
能力単位	A-10・B-20・C
使用温度範囲	−30～+40℃
型式番号	消第51～45号

ヤマトプロテック株式会社

ビル防災設備　プラント防災設備　避難警報設備　各種消火器

本　　社 〒108-0071 東京都港区白金台5-17-2 TEL.03-3446-7151(代)・FAX.03-3446-7160

大阪事業所 〒537-0001 大阪市東成区深江北2-1-10 TEL.06-6976-0701(代)・FAX.06-6976-0802

名古屋支社 〒462-0032 名古屋市北区辻町5-58 TEL.052-914-2381・FAX.052-914-2435

札 幌 支 店 〒065-0027 札幌市東区北27条東19丁目1-1 TEL.011-780-1700・FAX.011-780-1701

仙 台 支 店 〒984-0012 仙台市若林区六丁の目中町6-1 TEL.022-287-9531・FAX.022-287-9534

さいたま支店 〒331-0812 さいたま市北区宮原町1-68 TEL.048-652-1345・FAX.048-652-1321

横 浜 支 店 〒241-0031 横浜市旭区今宿西町426-1 TEL.045-954-4411・FAX.045-954-4422

静 岡 支 店 〒422-8005 静岡市駿河区池田231-1 TEL.054-263-0119・FAX.054-262-7741

広 島 支 店 〒733-0005 広島市西区三滝町7-4　TEL.082-237-4625・FAX.082-239-3859

松山営業所 〒791-1102 松山市来住町1477-1 TEL.089-956-2101・FAX.089-956-1310

福 岡 支 店 〒812-0893 福岡市博多区那珂5-7-12 TEL.092-411-4224・FAX.092-411-4229

大阪工場・東京工場・中央研究所・東京物流センター・リサイクルセンター

●この商品についてのお問い合わせは、ご購入の販売店または当社ナビダイヤルへ…

お客様相談窓口

ナビダイヤル® **0570-080-100** 受付時間:平日9:00～17:00

※本書に掲載した商品は改良などのため、予告なく規格・仕様変更等を行うことがありますので、ご了承ください。